

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

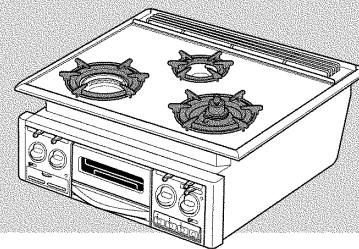
△ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガスにご連絡ください。

ビルトインコンロ

110-5160型・110-5161型
110-5162型・110-5163型

型式名 RBG-N31WGR



取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
- 本製品には保証書が同梱されています。内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 幼いお子様にはさわらせないでください。
- 本製品は家庭用ですので業務用にお使いになると著しく寿命が縮まります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- この取扱説明書の他に設置工事説明書があります。機器の移設、取り替え、修理の際に必要となりますので取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、または大阪ガスにて再購入してください。


ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのビルトインコンロをお求めいただきまして、
まことにありがとうございました。

別添の保証書、設置工事説明書とともに、
この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

●安全上のご注意	1～6
●各部の名称と特長	7～8
●準備をしましょう	9～11
●使いかた	12～24
●日常の点検とお手入れ	25～29
●故障かな？と思ったら	30～31
●長期間使用しない場合	32
●機器の設置	32
●アフターサービス	33
●消耗品	33
●別売部品のご紹介	34
●寸法図	34
●仕様	35




※  内の数字はページを示しています。

安全上のご注意






必ずお守りください

この製品および取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。

●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

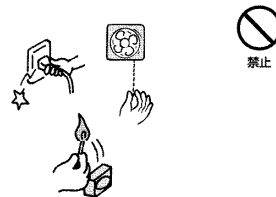
●絵表示には次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です
	接触禁止
	分解禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です

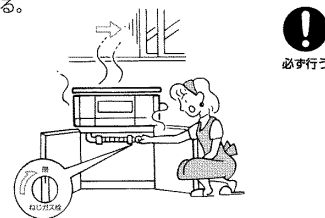
△危険

■ガス漏れに気づいたら

火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」、電源プラグの抜き差し、周辺の電話の使用をしない。
引火し爆発事故を起こすことがあります。



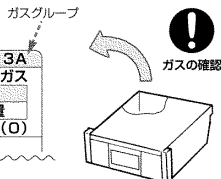
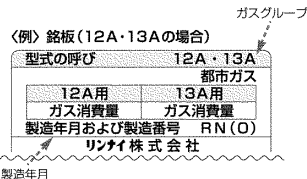
- ①すぐに使用をやめガス栓（ねじガス栓）を閉める。
- ②窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡する。



警告

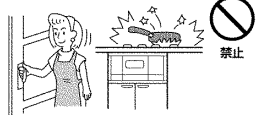
- 必ず銘板に表示してあるガス（ガスグループ）を使用する
- 転居されたときも供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

使用ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。銘板は機器内後方側面または機器の本体底裏面に張ってあります。使用ガスがわからない場合はガス事業者、販売店にご相談ください。



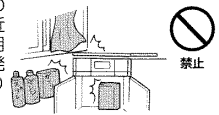
- 火をつけたまま機器から離れない、就寝・外出をしない

火災、機器焼損の原因になります。とくに天ぷらや揚げものの調理をしているときやグリルを消し忘れると、焦げたり燃えたりして火災になる場合があります。電話や来客の場合は、いったん火を消してください。



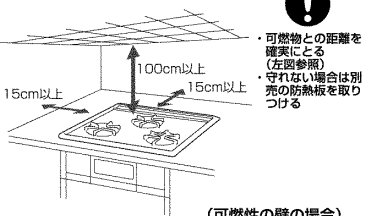
- 燃えやすいものを近くに置かない
- スプレー缶など可燃性ガスを近くで使用しない、置かない

カーテンなど燃えやすいものを近づけたり、スプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ガソリン・ペンジンなどの引火の恐れのあるものを近くに置いたり、使用しない。火災・爆発をおこすことがあります。



- 設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けご使用になっても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。



- 機器を設置した後、周辺の改造をしない

吊り戸棚などをつけた場合、可燃物との距離がなくなり、不完全燃焼や火災になることがあります。

※詳しくは、設置工事説明書を参照してください。

- ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

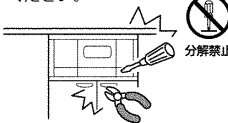
機器の設置・移動・買い替えの際には、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。



※詳しくは、設置工事説明書を参照してください。

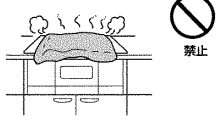
- 機器に手を加えない

お手入れが必要なところ以外は絶対に分解したり修理・改造は行わない。ガス漏れや火災の原因になる恐れがあります。万一故障と思われる時は、必ず販売店に連絡してください。



- 排気口をふさがない

排気口の上をなべ・アルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。



警告

- 異常時の処置

地震、火災、点火しない場合、使用中に異常な燃焼・臭気・異常音を感じた場合、途中消火した場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓（ねじガス栓）を閉めてください。『故障かな？と思ったら』に従い処置をしてください。



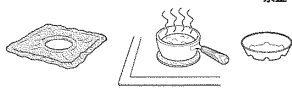
- 幼いお子様にはさわらせない

けがややけどをする恐れがあります。



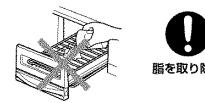
- ごとくをはずして直接コンロになべを置いて使用しない
- 市販の補助具（アルミはく製する受け、補助ごとく、いわゆる省エネごとくなど）は使用しない

この機器の付属品あるいは指定のもの以外は使用しないでください。ごとくをはずしてなべや補助具を使用しないでください。標準バーナーのしる受け側面の穴をアルミはくなどでふさがないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。



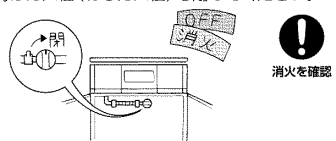
- グリルを続けて使用する場合は、そのつどグリル皿にたまった脂などを取り除く また使用後も必ず掃除する

グリル皿にたまった脂が過熱されて発火し、グリル排気口より炎が出る場合があります。なおグリル皿には何も入れなでください。



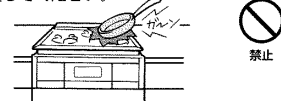
- 使用後は必ず消火を確認する

使用後は必ず消火を確認してください。就寝・外出時はガス栓（ねじガス栓）も閉めてください。



- トッププレートに衝撃を加えない

トッププレートの上にのらない
トッププレートにひびが入り、異常過熱や火災の原因になります。ひびが入ったときは、すぐに修理を依頼してください。



注意

- 使用中は換気をする

ご使用と同時に窓を開けたり、レンジフードファンを回すなど必ず換気をしてください。換気しないと一酸化炭素中毒の原因になります。

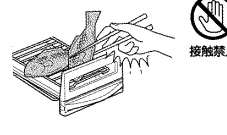
ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、窓などを開けて換気してください。レンジフードファンを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になります。



- 魚を取り出す時、手や腕がグリルとびら・ガラスなどに触れないこと

グリル使用時、グリルとびら・グリルとびらガラス・グリル焼網・グリル皿などは高温となります。魚を取り出す際は手や腕などが触れないようにご注意ください。

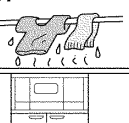
やけどをする場合があります。



△注意

調理以外に使わない

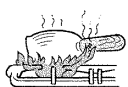
衣類の乾燥や練炭の火起こしなどをしない。
火災や機器焼損の原因になります。



禁止

やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

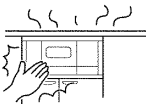
はみ出した炎によりなべの取っ手が過熱され、やけどや取っ手の焼損の原因になります。



禁止

やけどに注意

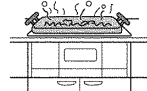
使用中、使用直後は操作ボタン・操作部・火力調節つまみ・グリルとびら取っ手以外は高温です。防熱板を取り付けた場合、防熱板も高温になります。さわらないでください。



接触禁止

炎をふさいだり、コンロをおおわない

コンロをおおような極端に大きい鉄板類やなべを使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。



禁止

脂がでる調理物を焼く場合は、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない

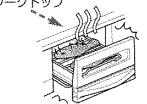
アルミはくの上に脂がたまり発火する原因になります。



禁止

グリルとびらを開けたままグリルを使わない

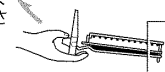
機器上部が変色したり、ワークトップをこがす恐れがあります。



禁止

グリル皿は持ち上げたまま引き出さない

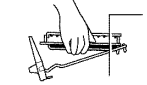
グリル皿を持ち上げたまま引き出すと途中で止まらず落下し、高温になった脂がこぼれてやけどをすることがあります。グリル皿は水平にゆっくり出し入れしてください。



禁止

グリル皿だけを持って本体より取りはずさない

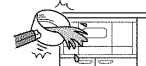
グリルとびらが落下し、けがややけどをすることがあります。ぬれぶきんなどで持ってもやけどの原因になります。必ずグリルとびら取っ手を持って取りはずしてください。



禁止

グリルとびらガラスに衝撃を加えない・傷をつけない

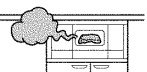
使用中、使用直後に水をかけない。ガラスが割れて、けがややけどの原因になります。



禁止

グリル庫内に不要な物がないことを確かめる

グリル庫内に食品くずやぶきんなどがあると使用中に発火する恐れがあります。



確認

コンロ使用時は体の一部や衣服をバーナーに近づけない

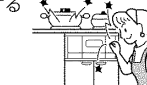
衣服に炎が移り、やけどをする恐れがあります。



近づけない

点火操作をするときは、バーナーや排気口付近に顔を近づけたり、グリルとびらを開けてのぞき込まない

炎や熱でやけどをすることがあります。



禁止

△注意

グリル皿に水を入れない

グリルを使用するときは、グリル皿に水を入れないで使用してください。グリル皿が濡れているため、こぼれてやけどをする原因になります。またグリル過熱防止センサーが正しく動かしず発火する場合があります。



禁止

グリル皿の持ち運びは正しいに

使用中、使用直後はグリル皿にたまった脂が高温になっています。こぼすとやけどをする原因になります。



正しいに

排気口に手や顔などを近づけない

なべの取っ手を排気口に向けけない。排気口から高温の排気が出ています。やけどやなべの取っ手が過熱され取っ手を焼損する原因になります。



禁止

バーナーキャップ水洗い後は、よく水気を切る

水分が残ったままセットすると点火不良や不完全燃焼になります。洗った後は水気を切る。



落ちやすいものがあるところには設置しない

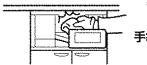
機器の上に物が落ち、燃えて火災になることがあります。



禁止

グリル庫内や本体内部をお手入れする時は、ガス栓(ねじガス栓)を閉め、本体がさめてからけがをしないように手袋などはめて行う

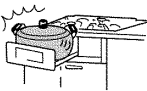
突起部などに当たるけがをする恐れがあります。



手袋をはめる

グリルとびらに重いものをのせたり、強い力を加えない

グリルとびらははすれ、けがの恐れや機器損傷の原因になります。



禁止

強い風の吹き込む場所や機器本体後方から風が吹き込む場所では使用しない

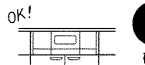
機器内部を焼損したり、安全装置が正しくはたらかなかったり、点火不良となることがあります。扇風機や冷暖房機器を使用される場合、風が直接この機器に当たらないようにしてください。



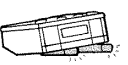
禁止

丈夫で水平な場所に設置する。車両、船舶での使用はしない

不安定で傾いたところに設置すると、なべが落ちたりしてけがややけどをすることがあります。また、使用中に機器が傾いたりして、火災ややけどの原因になります。



確認



禁止

お願い

●使うバーナーの操作ボタンを間違えないよう注意してください。

●みそ汁を温めなおすときは火力を弱めにし、よくかき混ぜながら温めてください。

強火で急に温めなおすとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり、みそ汁が飛びちったり、鍋がはねあがってびっくりすることがあります。特に、だし入り豆みそ(赤みそなど)に注意してください。

●グリル皿は急冷しないでください

使用直後、グリル皿に水をかけると変形することがあります。グリル皿が冷えてからお手入れしてください。

●使用中に、ガス栓(ねじガス栓)を操作しての消火はしないでください。

●点火操作を繰り返す時は、周囲やグリル庫内の生ガスがなくなるまで待つ

たまったガスに爆発着火する恐れがあります。グリルはとびらを開けて空気を入れ替えてください。



●本機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。そのままにしておきますと思わぬ事故になります。

安全上のご注意

天ぶら油過熱防止機能付バーナーについて

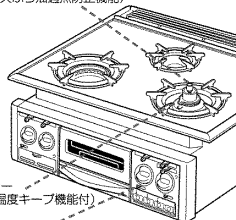
温度センサー付バーナー

標準バーナーが天ぶら油過熱防止機能付になっています。天ぶら油過熱防止機能とは、天ぶら、フライなどの揚げものの調理で、消し忘れなどによる調理油の異常過熱を防止する機能です。温度センサーでなべ底の温度を監視し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止めます。

このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。また、天ぶら油温度キープ機能付のため天ぶら、フライなどの揚げものの調理時の油の温度を一定に保つことができます。揚げものの調理の際にご使用ください。

※天ぶら油過熱防止機能がついているバーナーは右図のように前面パネルに「揚げもの用」と表示してあります。

温度センサー
(天ぶら油過熱防止機能)



標準バーナー
(天ぶら油温度キープ機能付)

揚げもの用

本図はチャオバーナーが左側の場合の図です。

警告

耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので油料理はしない

天ぶら油過熱防止機能が動かず、やけどや火災の原因になります。



耐熱ガラス容器



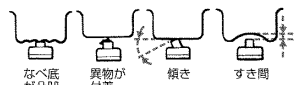
土なべ



油料理禁止

温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない

- そのまま使用すると調理油の量に関係なく発火することがあります。
- 温度センサーの動きが悪くなり、なべ底と温度センサーが密着しない場合は、点検・修理を依頼してください。



禁止

標準バーナー (天ぶら油過熱防止機能付) で使用する調理油の量は200ml以上で行う

調理油の量が減ってきたり、はじめから少ないと発火することがあります。

また200ml以上でもなべ底と温度センサーの上面が密着していないと発火することがあります。



調理油の量
200ml以上

注意

温度センサーは上下にスムーズに動くことを確認する

なべ底と密着しなくなり調理油が発火する場合があります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因になります。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。



上下動を確認

温度センサーに強いショックを加えたりキズをつけない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、温度センサーが正しく作動しない場合、調理油が発火することがあります。



禁止

揚げものの調理をされるときは、必ず標準バーナー (天ぶら油過熱防止機能付) を使用する

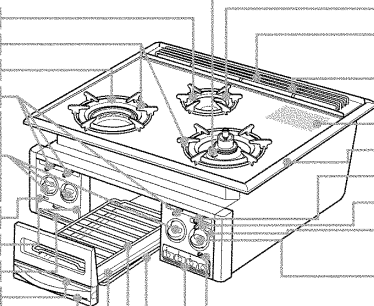


確認

各部の名称と特長

チャオバーナーが左側 (110-5160, 5162型) の場合

- 小バーナー
- ごくく大
- チャオバーナー
- コンロ用火力調節つまみ
- コンロ用操作ボタン
- それらのボタンの上にどのコンロのものか表示してあります。
- 左側操作ボタン用点火ロックつまみ
- 電池交換サイン
- 電池ケースふた
- グリルとびら
- グリルとびら取っ手
- グリル皿
- グリル焼網
- 皿受け



- 標準バーナー
- 天ぶら油温度キープ機能付
- ごくく小
- 排気口カバー
- 排気口
- 調理中の排気がでるところです。
- 注意ラベル
- トッププレート
- 上火グリル用火力調節つまみ
- 下火グリル用火力調節つまみ
- グリル点火確認ランプ
- グリル用操作ボタン
- ボタンにのマークが表示してあります。
- 右側操作ボタン用点火ロックつまみ

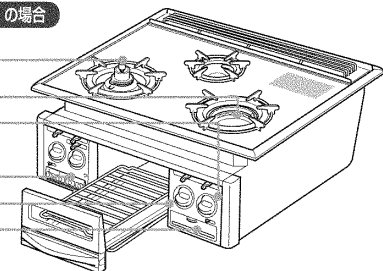
標準バーナー操作部

揚げもの設定温度表示ランプ 揚げものモード設定時に設定された温度を点灯で表示します。	炊飯表示ランプ 炊飯モード設定時に点灯します。	タイマー表示ランプ タイマーモード設定時に点灯します。	とりけしキー 設定 (モード) をとりけすときにキーを押します。キーを押すと同時に自動判別モードになります。(通常に使用できるモードです) キーを押さずに何も設定しないときは自動判別モードになっています。
200 180 160 揚げもの	おかゆ 洗米すぐ 洗米おき 炊飯	10分 3分 湯わかし タイマー とりけし	

揚げものキー 揚げものモード設定時に使用します。	炊飯キー 炊飯モード設定時に使用します。	タイマーキー タイマーモード設定時に使用します。
天ぶら油温度キープ機能 天ぶら・フライなどの揚げものを調理する時に油の温度を一定に保つことができます。キーを押すことにより160℃、180℃、200℃の3段階に温度を設定することができます。	炊飯機能 炊飯時に使用するモードです。別売の炊飯専用釜をお使いいただくと、上手に炊飯できます。キーを押すことにより (洗米おき、洗米すぐ、おかゆ) の3つのモードに設定できます。	湯わかし機能 沸騰後、自動的に小火になりそのままにしておくと、5分後に自動消火します。
		3分、10分タイマー機能 3分または10分を設定するとランプが点灯してから設定した時間になると自動消火します。

チャオバーナーが右側 (110-5161, 5163型) の場合

- 標準バーナー
- (天ぶら油温度キープ機能付)
- チャオバーナー
- グリル点火確認ランプ
- 標準バーナー操作部
- 電池交換サイン
- 電池ケースふた



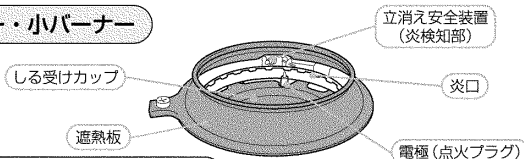
各部の名称と特長

コンロ部

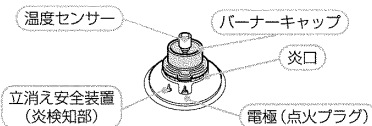
立消え安全装置 図

調理中、煮こぼれなどで火が消えると自動的にガスを止める安全機能です。

チャオバーナー・小バーナー

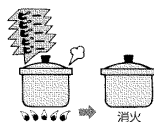


標準バーナー (天ぷら油温度キープ機能付)



焦げつき消火機能 図

主として水を使う煮こみ、煮ものなどの調理の場合に万一、料理が焦げつきはじめたら自動消火します。



天ぷら油過熱防止機能 図

天ぷら・フライなどの揚げものを調理中、調理油が過熱されても、自然発火温度に達する前に自動消火します。



コンロ消し忘れタイマー 図

点火してから約2時間で自動消火し、消し忘れを防ぎます。



グリル部

水のいらない両面焼きグリル 図

グリル皿に水を入れずに使えます。また、上火・下火のセパレートスライドレバー調節で火加減の幅が広がりました。

グリル過熱防止センサー 図

魚などの調理物を入れないで空焼きした場合など、グリル庫内の温度が、異常に高くなった場合に自動消火します。

グリルとびら 図

- グリルとびらを引き出すとグリルとびらが下降します。焼きものの出し入れの時、熱くなったグリルとびらに手が触れにくくなりました。
- グリルとびらが下がるため、焼きものの出し入れも簡単になりました。
- グリル皿、グリルとびらもワンタッチで取りはずせ、お手入れも簡単ができます。

立消え安全装置 図

グリル消し忘れタイマー 図

点火してからグリルは約15分で自動消火し、消し忘れを防ぎます。



グリルお知らせブザー 図

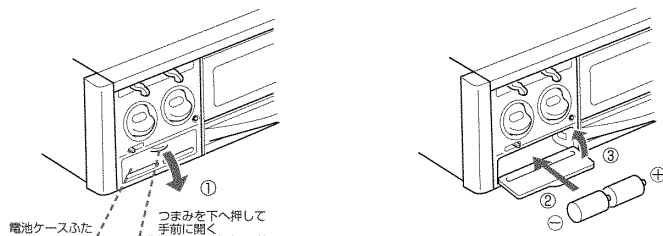
点火して約3分ごとにブザーが鳴り、グリル使用中であることをお知らせするとともに、焼き時間の目安にもできます。



準備をしましょう

乾電池のセット (アルカリ乾電池を使用)

電池ケースはパネル前面にあります。⊕ ⊖ 方向を確かめて乾電池をセットしてください。



乾電池の取り付け手順

- ① 電池ケースふたのつまみを下へ押して手前に開いてください。
- ② 単1形乾電池 (1.5V) 2個を図のように正しくはめ込んでください。
- ③ 電池ケースふたを元に戻してください。

お願い

- 付属の乾電池は、工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。
- 乾電池の寿命は、アルカリ乾電池の場合、通常の使い方では約1年を目安にしてください。アルカリ乾電池以外の乾電池を使用すると寿命が約半分にになります。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品をお使いください。
(新旧、異種の乾電池を使用されますと乾電池が破損したり、液漏れの原因となります)
- 電池交換は、機器本体が冷えてから行ってください。

点火ロックの使い方

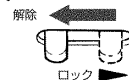
操作ボタンをロックさせる機構です。点火ロックつまみは左右2箇所にあります。右側の操作ボタンは右側の点火ロックつまみ、左側の操作ボタンは左側の点火ロックつまみでそれぞれロックさせてください。

ロックをかけるには

1. ロックする側の操作ボタン (2箇所) が消火の位置にあることを確認してください。
2. 点火ロックつまみをロックの位置 (右方向) にスライドしてください。

ロックを解除するには

点火ロックつまみを解除の位置 (左方向) にスライドしてください。



お願い

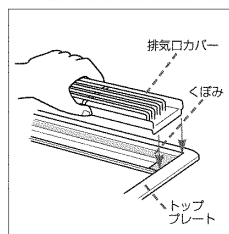
1. ロックする側の操作ボタン (2箇所) の片方が点火の位置にあるとロックできません。
2. ロック状態のときに、操作ボタンを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

準備をしましょう

各部品のセット

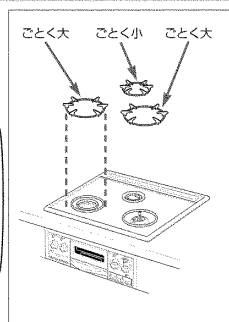
排気口カバー

排気口カバーを
トッププレート
のくぼみにセッ
トしてください。



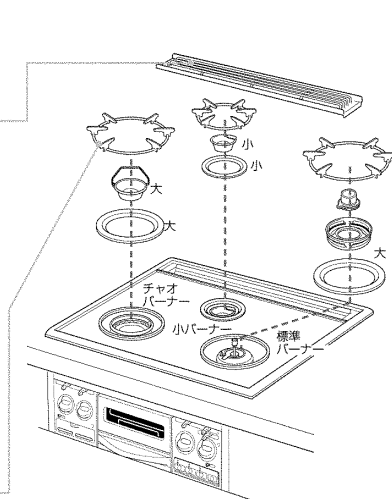
ごとく

ごとくは、右図
のように煮こぼ
れカバーリング
の外側にセット
してください。



ごとくのツメの
位置決めはあり
ませんがツメが
手前にくるよう
にセットするこ
とをおすすめし
ます

●ごとくの前部は炎が接触して変色しますが
異常ではありません。

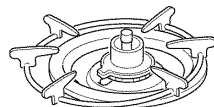


※ 図はチャオバーナーが左側のタイプ
(110-5160, 5162型) です。110-
5161, 5163型はチャオバーナーが右側、
標準バーナーが左側となります。

⚠注意

■ごとくは正しくセットする

誤ったセットをするとなべなどが不安定になり、かたむ
いたり、倒れたりします。



■ごとくをはずして直接なべを置いて使用しない

不完全燃焼による一酸化中毒や異常過熱による火災や機器焼損の原因となります。

準備をしましょう

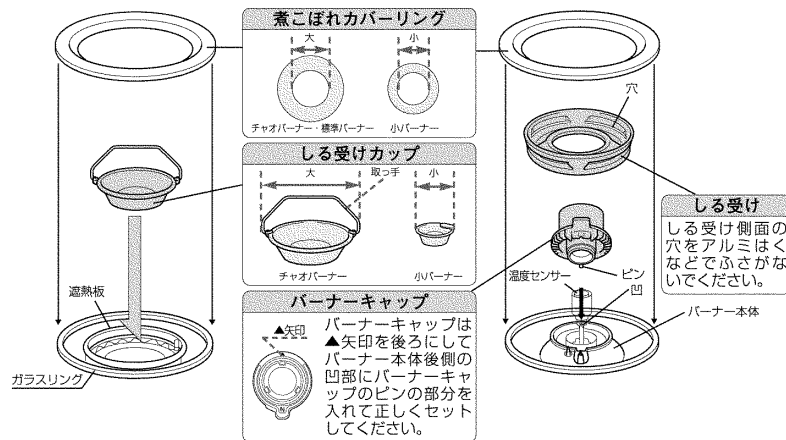
煮こぼれカバーリング・しる受けカップ・しる受け・バーナーキャップ

●下図のように各部品を正しくセットしてください。

●煮こぼれカバーリング、しる受け、しる受けカップはホーロー仕上げです。よこれが焼きつくことが
ありますので、こまめに掃除をしてください。よこれが焼きついても性能はかわりません。

チャオバーナー・小バーナー

標準バーナー



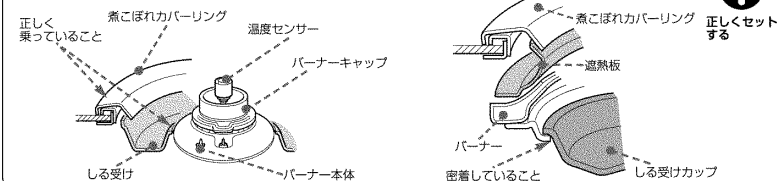
⚠注意

■煮こぼれカバーリング・しる受けカップ・しる受け・バーナーキャップは正しく セットする

バーナーの炎がしる受けカップやトッププレートの下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。

標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付)

チャオバーナー・小バーナー



お願い

- バーナーキャップをセットしたときは必ず正常に燃焼しているか確認してください。
- バーナーキャップは消耗品です。薄くなったり変形して炎がふぞろいになった場合は交換が必要です。
お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへ相談してください。

●コンロをお使いになる前に

コンロの上手な使い方

炒めもの



煮もの



煮込み



強火で手早く

火力の強いチャオバーナーが便利です。

強火から中火に

強火で煮立てて、後は中火で煮ましょう。沸騰したら煮こぼれに注意してください。炎が消えていなくなるときき確認をお忘れなく。

弱火で長時間

煮込めば煮込むほど味わいが深まる煮込み料理。弱火でじっくり煮込みましょう。ときどきかきまぜて焦げつきを防いでください。

用途に応じてバーナーを使用しましょう

チャオバーナー

- ・大量の煮もの・煮こみ料理
- ・強い火力を必要とする調理
- ・焼きもの料理や炒めもの料理など高温を必要とする調理
- ・冷凍食品の加熱調理

標準バーナー (天ぷら油過熱防止機能付)

- ・天ぷら、フライなど揚げもの調理
- ・炊飯
- ・煮もの、煮こみ料理

小バーナー

- ・コーヒーの保温や弱い火力を必要とする調理

こんなときにはコンロを使いわけてください。

1. 炒めもの料理などで、途中消火する場合はチャオバーナーを使う

●標準バーナーには、天ぷら油過熱防止機能が付いており、なべ底の温度が設定温度になると自動消火します。このため焼きもの料理や炒めもの料理など、高い温度を必要とする調理では、途中で消火してしまうことがありますので、チャオバーナーをご使用ください。

2. 冷凍食品の加熱調理で、途中消火する場合はチャオバーナーまたは小バーナーを使う

●冷凍食品（うどん、そばなどのなべ付きの冷凍インスタント食品、カレー、シチューなど、なべごと凍らせた場合など）は、温度上昇が遅いため温度センサーが正しく動かず消火することがあるので、チャオバーナーまたは小バーナーをお使いください。

3. 揚げもの調理をする場合は標準バーナーを使う

●揚げもの調理をされるときは、標準バーナーの揚げものモード（天ぷら油温度キープ機能）をご使用ください。温度設定をすると、設定温度を一定に保つことができます。【図3】

お願い

- 煮こぼれに注意してください。
機器内部および下方のキャビネット内のものなどが汚れます。
・トッププレート・ごとき・煮こぼれカバーリングなどに煮こぼれが焼きついたり、機器を早くいためます。煮こぼれた場合は「日常の点検とお手入れ」【図3】を参考にしてお掃除してください。
- 使用中はときどき炎の確認をしてください。
点火、消火時だけでなく、使用中もときどき正常に燃焼しているか確認してください。
- コンロで焼網は使わないでください。
ごときやバーナー部を早くいためます。
- なべは不安定な状態で使わないでください。
なべの種類によっては、傾いたり、すべりやすいものがあります。不安定な状態で使わないでください。中華なべなど底の丸いなべは、必ず取っ手を持ちながら調理してください。小さななべは小バーナーをご使用ください。

立消え安全装置

立消え安全装置とは？

風や、煮こぼれなどで火が消えると、自動的にガスを止める安全装置です。（標準バーナー及びグリルの場合はプザーでお知らせします）

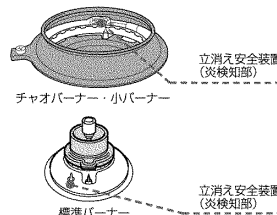
立消え安全装置が作動したら

■使用中、火が消えたときは

安全装置が働いてガスが止まるまですこし時間がかかります。消火に気づいたときは、すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

周囲の生ガスがなくなるまでしばらく待って、立消え安全装置（炎検知部）の汚れをふきとってから再度点火操作を行ってください。



お願い

- 立消え安全装置（炎検知部）に水滴や煮こぼれがつくと、点火しにくくなったり、消火することがあります。なべの底についた水滴はふきとってから、ごときの上にのせてください。（煮こぼれにも注意してください）
- 立消え安全装置（炎検知部）に固いものをぶつけないでください。まがったり、変形すると点火しにくくなります。

天ぷら油過熱防止機能（標準バーナーのみ）

天ぷら油過熱防止機能とは？

天ぷら、フライなどの揚げものの調理中、温度センサーでなべ底の温度を監視し、万一異常過熱した場合には、油が自然発火温度に達する前に「強火」↔「弱火」をくり返し、消火や油が発火しないように自動的に火力調節し、この状態が約5分続くと、自動消火し、プザーでお知らせする機能です。（油から煙が出る場合があります）

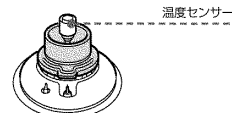
天ぷら油過熱防止機能が作動したら

■使用中、火が消えプザーが鳴ったときは

すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

なべや油が相当熱くなっていますのでやけどに十分注意して、水を入れたなべや水に浸した布などで温度センサーを冷やしてください。熱いなべをのせたまま、再点火すると消火する場合があります。



- ソーセージ、ポークソテー、ホイルのつつみ焼きなど、から焼きに近い調理は天ぷら油過熱防止機能が働き、消火することがあります。火力を絞るか、なべの中央部などセンサーの位置に材料を置くと消火を防ぐことができます。
- かきもち揚げなど高温で長時間使用する調理は、天ぷら油過熱防止機能が働き、消火することがありますので揚げものモードをお使いください。【図3】
- 野菜炒めやチャーハンなど、なべをふる調理で、あまり長くふると消火することがあります。
- どうしても消火するときは、チャオバーナーを使用してください。

△注意



●揚げもの調理をされるときは、必ず標準バーナー（天ぷら油過熱防止機能付）を使用する

焦げつき消火機能(標準バーナーのみ)

煮ものなどで水分がなくなり、なべの底が焦げつきはじめてら自動消火し、ブザーでお知らせする機能です。

焦げつき消火機能が作動したら

■使用中、火が消えブザーが鳴ったときは
すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

焦げつきやすすくなるので、ようすを見ながら煮こんでください。

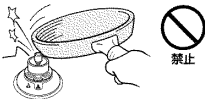


- カラメシ、みその加熱など、水分のほとんどない調理や中火で自動消火したときは、焦げつきがひどくなることがあります。
- なべを持ち上げたり、ごとくから浮かせて調理しますと焦げつき消火機能が働き、消火することがあります。
- カレーやシチューを再加熱するときは、水を加え、弱火でようすを見ながら行ってください。
- 土なべを使用する料理で、弱火から中火に切り替えたとき、焦げつき消火機能が働き、消火することがあります。このような場合は再点火してください。
- 圧力なべや無水なべを使用した料理、土なべを使用した料理、フライパンを使用した 通りのもも焼きなど焦げつき消火機能が働き、消火する場合は再点火してください。

△注意

■温度センサー部に強いショックを加えたり、キズをつけたりしない

なべ底と密着しなくなり、温度センサーの機能が動かず、やけどや火災の原因になります。



お願い

センサー部はいつも清潔にしてください。センサー部には煮汁や水などをかけないでください。もし、煮汁やゴミが付着したときは、水を浸し固くしぼった布でふきとってください。また、なべややかんの底も清潔にしてご使用ください。

コンロ消し忘れタイマー(標準バーナーのみ)

消し忘れを防止するために、点火してから約2時間たつと自動消火し、ブザーでお知らせする機能です。

消し忘れタイマーが作動したら

■使用中、火が消えブザーが鳴ったときは
すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは

再度点火操作を行ってください。

標準バーナー(天ぷら油温度キープ機能付)の使い方

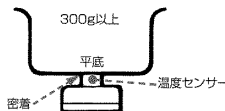
天ぷら油過熱防止機能 を正しく働かせるために以下の内容をお守りください。

調理油の量

200ml以上で使用してください。少ないと温度センサーが正しく調理油の温度を測定できません。(調理油が発火する恐れがあります)

なべの重さとのせかた

なべの重さは調理物の重さを含め300g以上が必要です。できるだけ底が平らな金属製のなべを使い、なべ底の中心が温度センサーの上面に密着するよう、正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。



温度センサーに適したなべ

なべなどの種類	油料理 (揚げものなど)	その他料理 (煮ものなど)	温度調節機能	
			揚げもの	湯わかし
アルミ製	○	○	×	○
鉄、ステンレス ホーロー製	○	○	○	○
底の平らな鉄製中華なべ (フライパン)	○	○	○	○
底の丸い中華なべ、底の凹出した打出しなべ、ステンレス製フライパン	×	○	×	○
土なべ 耐熱ガラス容器 圧力なべ	×	○	×	×
無水なべ 多量なべ	○	○	×	○
やかん				○
焼網		×		

○：適する ×：適さない (温度を正しく検知しない場合あり)

炊飯に適したなべについては を参照ください。

△警告



■温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない
そのまま使用すると調理油が発火することがあります。



■調理油の量は200ml以上で行う
調理油の量が減ってきたり、はじめから少ないと発火することがあります。



●温度センサーの動きが悪くなり、なべ底と密着しない場合には、点検・修理を依頼してください。

炊飯機能(標準バーナーのみ)

この炊飯機能には、炊飯前にお米を水に浸しておいてから炊飯する「洗米おき」モードと、お急ぎの場合には洗米してからすぐに炊飯できる「洗米すぐ」モードと、さらに「おかゆ」モードがあります。炊飯機能でおいしく炊飯するために以下の内容を行ってください。

●お米の準備

洗米



- 「洗米おき」、「洗米すぐ」モードの炊飯量は1合～5合です。5合を超える炊飯量の場合は、炊飯できません。
- お手持ちの計量カップ(180ml用)でお米を正しく計り、ごみ、ぬかなどを洗い流しながら手早くとぎあげます。一度水につけたお米は碎けやすくなります。碎け米・粉米などが混じって炊飯されると風味を損ね、炊きむら、着色の原因となります。
- 無洗米をご使用の場合は表面の米粉を洗い流してください。米粉が底にたまるとう生炊けの原因になります。またお米には気泡が付着していますので水を入れたら底の方からやさしく数回かきまわしてください。

●「洗米おき」、「洗米すぐ」モードの場合

水加減

米180ml	～ 1 合 (150g) に対し	水約300ml
米270ml	～ 1.5 合 (225g) に対し	水約390ml
米360ml	～ 2 合 (300g) に対し	水約480ml
米450ml	～ 2.5 合 (375g) に対し	水約580ml
米540ml	～ 3 合 (450g) に対し	水約670ml
米720ml	～ 4 合 (600g) に対し	水約930ml
米900ml	～ 5 合 (750g) に対し	水約1130ml

炊飯前にお米を水に浸しておく時間

	春～夏	秋～冬
白米	30分以上	60分以上
胚芽米	60分以上	90分以上
精米		
輸入米		
古米		

●「おかゆ」モードの場合

「おかゆ」モードはお米からおかゆをつくる機能です。炊きあがったごはんからおかゆをつくる場合は、自動判別モード（とりけしキー）で手動にて調理してください。

水加減

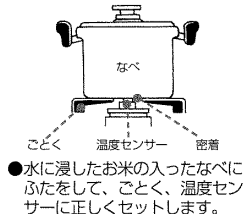
	全がゆ	7分がゆ
米45ml	～ 0.25 合 (38g) に対し	水約360ml
米90ml	～ 0.5 合 (75g) に対し	水約540ml
米180ml	～ 1 合 (150g) に対し	水約900ml

※全がゆで1合（約4～5人前）、7分がゆで0.5合（約2～3人前）まででご利用ください。それ以上の合数の場合、うまくできない場合があります。

●炊飯に適したなべ

なべ	洗米おき	洗米すぐ	おかゆ	備考
別売の炊飯専用なべ	○	○	○	炊飯専用なべの取扱説明書をよくお読みください。
アルミ製なべ	○	○	○	薄手の場合は焦げつきやすくなります。
ホーロー、ステンレス製のなべ	○	×	○	洗米すぐの場合は焦げつく場合があります。
土なべ、ガラスなべ	×	×	○	なべの形状によっては吹きこぼれたり、うまくできない場合があります。

●なべのセット



●水に浸したお米の入ったなべにふたをして、ごとく、温度センサーに正しくセットします。

お願い

- 温度センサーの上面に水、米粒などの異物がないことを確認して、なべ底の中心が温度センサーの頭部に密着するよう正しくセットしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。
- 2度炊きやあたためた場合は自動消火しないため焦げつきます。

- 水加減は目安です。新米・古米またはかため、やわらかめなど好みによって水を加減してください。
- 無洗米の場合は、すこし水を多め（約3%）に入れてください。
- 炊き込みご飯の場合は、お米と具を加えた重量に対して水を加えます。
- 別売の炊飯専用釜（※）では、5合まで炊飯することができます。但し米の質、水量などによってふきこぼれがひどくなる場合があります。

1. 「洗米おき」モードの場合

- 水加減後、必ずお米を水に浸してから炊飯します。
- 2. 「洗米すぐ」モードの場合
 - お急ぎの場合等、洗米してから水加減後すぐに炊飯します。



- 古米や麦こはなどは60分以上水に浸してから「洗米おき」モードで炊飯してください。
- 洗米後、すぐに炊飯しない場合は、必ず30分以上水に浸してから「洗米おき」モードで炊飯してください。



- 水のかわりにだし汁やお茶を使ったおかゆもできます。
- 加熱途中でかき混ぜすぎると米粒がつぶれ粘りが出たり、焦げつきやすくなります。
- 最初から食塩を加えると、米粒がつぶれ、のり状になるので、出来上がる直前が良いでしょう。

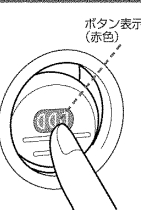
●コンロの使いかた

操作の手順

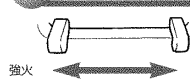
1 準備



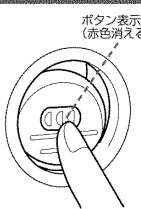
2 点火



3 火力調節



4 消火



標準バーナーには消し忘れタイマーがついていますので、約2時間連続使用すると自動消火します。【※】

- 機器下方のキャビネット内にあるガス栓（ねじガス栓）を全開にします。
- 点火ロックつまみを左へスライドさせ点火ロックを解除します。【※】

- 操作ボタンをいっばいに押してください。火力調節つまみの位置が「弱」のとき操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。ただしチャオバーナーは中火点火式のため、他のコンロと違い火力調節つまみが「中火」の位置に移動しますので強めに押してください。
- バーナーへ火移りしたことを確かめてから数秒間（立消え安全装置が働くまで）そのまま押し続けてください。（途中で手を離したり、押す力が弱いと、一旦点火しても消火する場合があります）

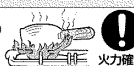


- すべてのコンロとグリルが同時に放電します。これは全所放電する構造となっていますので異常ではありません。
- 万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態に戻し、周囲のガスがなくなしてから再度点火操作をしてください。
- 長期間使用していなかったり朝一番などはじめて点火するとき、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。

- 火力調節つまみを左右にゆっくりスライドさせ火力調節します。
- 早くスライドさせると消火したり、炎が一瞬大きくなります。ゆっくり火力調節してください。
- 弱火のとき、火のついていない炎口があるときは再度大火にしてからゆっくりと弱火にしてください。
- 弱火にしたとき、機器下方のキャビネットとびらを早く開閉すると消火することがあります。

△注意

なべによっては、取っ手を焼損する恐れがありますので必ず炎の大きさを見て火力を調節してください。



△注意

- ・使用中、使用直後はグリルとびら取っ手・操作ボタン・操作部・火力調節つまみ以外の部分は高温ですのでさわらないでください。
- ・使用中、使用直後はトッププレートのガラス面も高温になります。



- コンロバーナーは消火時にボンという音がする場合ありますが、これは火が消えた時の音で異常ではありません。
- 機器内部（バーナー周辺部）が赤く見えることがありますが、これは室内灯などの光がガラスを透過した時の色です。

お願い

炎の形や色は？
炎が異常に大きかったり、変な音をたてていませんか？炎が赤かったり、すすがついたり、ふぞろいで音をたてたりするときは、バーナーキャップや煮こぼれパールのセットが正しくされていないことが考えられます。お手入れ後などは正しくセットするように気をつけましょう。【※】

標準バーナー操作部の使い方



揚げものモード (天ぷら油温度キープ機能)

①. 点 火

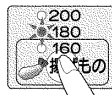
標準バーナーの点火操作をします。

- 火力は全開でお使いください。



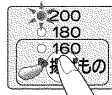
②. モード設定

揚げものキーを押します。
●揚げもの設定温度表示ランプが点灯します。
※揚げものキーの1回目の操作時は、180℃に設定されてます。



③. 温度セット

揚げものキーを押して温度を合わせます。
●揚げものキーを押すごとに、180℃→200℃→160℃というように温度が切り替わります。
●調理の途中でも設定温度〈調理の目安〉を変えることができます。



160℃	とりのからあげ、フリッター、ドーナツ
180℃	天ぷら、コロッケ、フライ、とんかつ
200℃	クルトン、かきもちあげ

④. 調 理

①油が設定された温度になるとブザーで「ビビビッ」とお知らせします。
②調理を始めてください。
●あとは自動的に火力調節して油の温度を設定温度に保ちます。



解除するとき

とりけしキーを押します。
●揚げものモードが取り消され、自動判別モード に設定されます。



●揚げものモードの温度は、天ぷら用鉄製なべで設定してあります。なべの種類や厚さ、油の量などによって多少設定した温度と異なる場合がありますので設定温度を加減してお使いください。
●油の量は0.8〜1ℓが適量です。油量が多いと設定温度より低めに、少ないと高めに温度制御します。

炊飯モード

①. 点 火

標準バーナーの点火操作をします。



②. 火力調節



火力調節つまみを右にゆっくりスライドさせ炊飯位置に合わせます。



●炊飯位置に合わせないと、吹きこぼれたり、上手に炊飯できません。

③. モード設定

炊飯キーを押します。
●洗米おきモードに設定され、洗米おきランプが点灯します。
※炊飯キーを押すごとに 洗米おき→洗米すぐ→おかゆ というように



モードと炊飯表示ランプが切り替わります。
●炊飯の途中からのモード切り替えはできない場合があります。



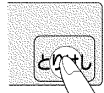
●火力調節つまみを炊飯位置に設定後、できるだけ早く炊飯キーを押して炊飯モードにしてください。
●「洗米おき」モードで3合(450g)炊飯の場合、通常で約20分で炊き上がります。
●「おかゆ」モードの場合、約35〜50分で炊き上がります。

④. 炊 飯

①炊き上がりますと、自動で消火し、炊飯完了をブザーで「ピー」とお知らせしますので必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。
②炊き上がり後は必ずそのまま10〜15分程度むらします。
●むらしが終わるまでふたを開けないでください。
●むらし後、ご飯をほぐしながらよくかき混ぜてください。
●余分な水分が逃げ、ご飯がおいしくなります。
〔「おかゆ」モードの場合はむらしの必要はありません〕

解除するとき

とりけしキーを押します。
●炊飯モードが取り消され、自動判別モード に設定されます。



●別売の炊飯専用釜 をお使いいただくと上手に炊飯することができます。
●炊き上がりは、お米の種類、水の量、水に浸す時間などにより変わります。お好みに応じて工夫してお使いください。

タイマーモード (湯わかしモードの場合)

①. 点 火

標準バーナーの点火操作をします。

- 火力は全開でお使いください。



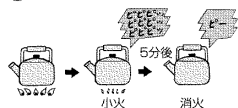
②. モード設定

タイマーキーを押します。
●湯わかしモードに設定され、湯わかしランプが点灯します。
※タイマーキーを押すごとに 湯わかし→3分→10分 というようにモー



ドとタイマー表示ランプが切り替わります。

3. 沸騰



- ①沸騰温度になるとブザーで「ビビビッ」とお知らせし、小火になります。
- ②そのまましておきますと5分後にブザーで「ピー」とお知らせし、自動消火しますので、必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。
- 沸騰してからブザーが鳴るまで、多少時間がかかる場合があります。

解除するとき



とりけしキーを押します。

- タイマーモードが取り消され、自動判別モードに設定されます。
- 底の平らな金属製のやかんやなべを使ってください。
- 土なべや耐熱ガラス容器は100℃になる前に沸騰したと判断する場合があります。
- 沸騰するまでの間は、ふたの開け閉めをしたり、中の水をかき混ぜたり、なべを動かしたり水や具を入れたりしないでください。
- 温度センサーが正しく働かない場合があります。
- 一度沸かしお湯(約70℃以上)を再び沸かしモードで沸かすと、100℃になる前に沸騰していると判断する場合があります。
- なべの材質、水量(500ml〜2ℓが適切です)により沸騰のお知らせが2〜3分遅れる場合や、100℃より低めで沸騰したと判断する場合があります。またふきこぼれる場合があります。

タイマーモード (3分、10分モードの場合)

1. 点火



- 標準バーナーの点火操作をします。
- 火力は調理にあわせてお使いください。

2. モード設定



- タイマーキーを押します。
- 2回押すと3分モードに設定され、3分ランプが点灯します。
- ※タイマーキーを押すごとに「沸かし」→3分→10分 というようにモードとタイマー表示ランプが切り替わります。
- タイマー表示ランプが点灯したときからタイマーが動きます。
- タイマーの途中でタイマーキーを押すと再度タイマー表示ランプが点灯したときから設定時間タイマーが動きます。

3. 調理終了

- 調理終了30秒前になると「ビビビッ」とお知らせしてタイマー表示ランプが点滅に変わります。
- タイマー表示ランプが点滅に変わり、自動消火する前にタイマーキーを押すと、点滅が点灯に変わり、設定時間が延長されます。この場合使用中のタイマーだけが延長され、他のモードには切り替わりません。
- 設定時間が終了するとブザーで「ピー」とお知らせし、自動消火しますので、必ず操作ボタンを押して消火の状態に戻してください。

解除するとき



とりけしキーを押します。

- タイマーモードが取り消され、自動判別モードに設定されます。

自動判別モード

各モードを使用中、とりけしキーを押すと自動判別モードに設定されます。自動判別モードでは、機器が自動的に料理の種類を判別し、焦げつき消火機能や天ぷら油過熱防止機能などの安全装置を選択します。(通常に使用できる状態です)

点火初期は、自動判別モードに設定されています。また、タイマーモード(3分、10分)を使用中でも自動判別モードが働きます。

●グリルをお使いになる前に

本機器はグリル皿に水を入れる必要がないタイプですので、グリル皿に水を入れないで使用してください。

から焼きをしましょう

グリルをはじめとお使いになる場合は必ず5分くらいから焼きをしてください。部品に付着した加工油を焼き切るため、このとき煙がでますが異常ではありません。から焼き時にグリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。自動消火した場合は、しばらく待ってから点火操作をしてください。(約3分程度)

△注意

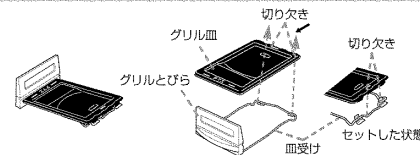


■から焼きするときはグリル庫内に異物がないことを確認して使用する

グリルとびらの出し入れについて

セットのしかた

- グリル皿の後部2カ所の切り欠きに、皿受け後部の棒が入るように「デマエ」刻印を手前にしてセットしてください。



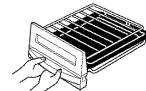
引き出しかた

- グリルとびらを水平に止まるところまでゆっくりいっばいに引き出すと、グリルとびらのみ下がり、グリル皿はそのままの状態です。止まりますので、焼きものの出し入れ、確認が容易にできます。



取り出したり持ち運ぶとき

- グリル皿を取り出すときは、グリルとびらを止まるところまでいっばいに引き出し、両手で持ち上げて引き出してください。あまり強く持ち上げると、グリル皿のフッ素コートに傷がつく場合があります。
- お手入れの際は、グリルとびらを別の場所においてからグリル皿をはずして洗ってください。



△注意



グリルとびらを持ち上げて引き出すと途中で止まらずにグリル皿が脱落する場合があります。またグリルとびらを引き出してから急に手を離すとグリル皿の脂がこぼれてやけどをする場合があります。



グリル使用中、使用直後はグリル皿、皿受け、グリルとびらなどは熱くなっていますので直接手で触れたりしないでください。また、熱くなったグリル皿を持ち運ぶときは、グリルとびら取っ手以外には手を触れないよう注意してください。

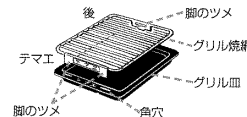


グリル皿を直接持って取り出すと、グリルとびらが落下しけや やけどをすることがあります。必ずグリルとびら取っ手を持って取り出してください。

グリルで上手に焼くには

グリル焼網のセット

グリル焼網をグリル皿にセットする際、デマエと後の向きをまちがえないようにグリル焼網のツメをグリル皿の角穴に確実にセットします。



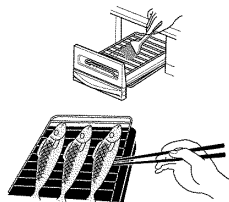
魚焼きのこつ

- (1) 魚は水洗いしたらよく水をふきとります。
- (2) こげやすい部分やヒレなどには厚めに塩をふりかけておくか、アルミはくで包んでおくことこげ方が少なくなります。
- (3) 塩をふったら、おいしさが逃げないうちに焼きます。
- (4) 魚など1尾だけ焼く場合は、グリル焼網の中央はさけてください。右図の印のところが上手に焼けます。
- (5) 冷凍の魚は解凍してから焼いてください。
- (6) 下味をつけた魚や、たれをつけて焼くつけ焼きなどは、こげやすいので弱火でゆっくりと焼きます。
- (7) みそ漬けや粕漬けは、みそや粕をよくふきとってから焼いてください。



予熱後グリル焼網に油

- あらかじめ、1分程予熱した後、グリル焼網にサラダ油などを塗っておきますと、焼き上がり後、材料が焼網に付着しにくく取り出しやすくなります。
- 焼き上がった魚を取り出すときには、一度はしを焼網と平行に入れ、魚を軽く持ち上げ網からはがすようにしてから取り出すとくずれにくくなります。また、焼き上がる前に魚をずらすと、焼網に付着しにくくなります。



お願い

- このグリルは両面式ですから基本的に裏返しの必要はありませんが、表と裏の焼き色が同じになるとは限りません。上火、下火それぞれの火力調節ダイヤルを利用して好みの焼き色にしてください。

警告

■排気口をふさがない

排気口上部をアルミはく・ふきんなどでふさぐと異常過熱し、不完全燃焼や火災の原因になります。

グリル使用時はなべなどで排気口上部をふさぐと、不完全燃焼や火災の原因になります。



禁止

■グリルを続けて使用する場合は、そのつどグリル皿にたまった脂などを取り除く また使用後も必ず掃除する

続けて使用するときはそのつど脂を取り除いてください。

ご使用ごとにこまめに掃除しないと、魚や肉から落ちた脂が燃える恐れがあります。

注意

■グリルとびらを開けたままグリルを使わない

グリルとびらを開けたままご使用になると、本体上部が変色したり、ワークトップをこがす恐れがあります。

■グリルとびらガラスに水をかけない

グリルとびらガラスが熱いときに水がかかると割れる恐れがあります。

■グリル皿に水を入れない

グリル皿が浅くなっているためこぼれてやけどをする原因になります。

またグリル過熱防止センサーが正しく働かず発火する場合があります。



禁止

グリルお知らせブザー

グリル点火後、約3分ごとにブザー「ピピッ」が1回鳴りグリル使用中であることをお知らせします。

グリル消し忘れタイマー

消し忘れを防止するために、点火してから約15分たつと自動消火し、ブザーでお知らせする機能です。

グリル消し忘れタイマーが作動したら

■使用中、火が消えブザーが鳴ったときは
すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。

■再点火するときは
再度点火操作を行ってください。

お願い

- 調理物(魚など)の種類によっては、グリル消し忘れタイマーが作動する前に発火することがあるので機器から離れないようにし、焼きすぎに注意してください。

グリル過熱防止センサー

魚などの調理物を入れないで空焼きした場合など、グリル庫内の温度が異常に高くなった場合に自動消火します。また3回、4回と連続で使用した場合や、使用中時間を忘れて焼きすぎた場合にもグリル過熱防止センサーは作動し、自動消火します。(消火と同時にブザーが「ピー」と3回鳴ります。)

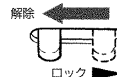
グリル過熱防止センサーが作動したら

グリル庫内の温度がある程度下がるまで使用できない機能になっていますので、約3分程度待ってから点火操作をしてください。

操作の手順

7 準備

グリル点火後約3分ごとにブザーが鳴り、グリル使用中であることをお知らせし、約15分連続使用すると消し忘れを防止するために自動消火します。



- 機器下方のキャビネット内にあるガス栓(ねじガス栓)を全開にします。
- 点火ロックつまみを左へスライドさせ点火ロックを解除します。
- グリル皿には水を入れないでください。
・続けて使用する時は、そのつど脂を取り除いてください。

注意



禁止

■脂がでる調理物を焼く場合は、グリル焼網の上や下にアルミはくなどを敷かない

アルミはくなどに脂がたまり燃える恐れがあります。



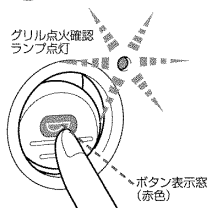
確認

■庫内に不要な物がないことを確かめる

グリル使用時は、グリル庫内に異物がないことを確認してから行ってください。

使い方

2 点 火



- グリルとびらを閉めてください。
- 操作ボタンをいっぱい押してください。
- バーナーへ火移りしたことを確かめグリル点火確認ランプが点灯したら手を離してください。
- 上火用火力調節つまみの位置が「弱」の時、操作ボタンを押すと「強」の方向に移動します。



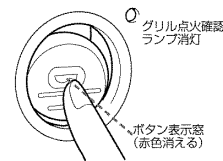
- すべてのコンロとグリルが同時に放電します。これは全力で放電する構造となっていますので異常ではありません。
- 万一点火しないときは、操作ボタンを一旦消火の状態に戻し周囲のガスがなくなってから再び点火操作をしてください。
- 長期間使用していなかったり朝一番などはじめて点火するときは、ガス管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。
- グリルバーナーは赤外線バーナーのため着火までに多少時間がかかります。

3 火力調節



- 火力は、上火、下火それぞれ別々に調節できます。
- 火力調節つまみを左右にゆくりとスライドさせ火力を調節してください。「強」：強火になります。「弱」：弱火になります。

4 消 火



- 操作ボタンを押して必ず火が消えたことを確認してください。

△ 注意



■ やけどに注意

- ・使用中、使用直後は、グリルとびら取っ手・操作ボタン・操作部・火力調節つまみ以外の部分は高温ですのでさわらないでください。やけどをする恐れがあります。
- ・使用中、使用直後は、トッププレートのガラス面も高温になります。

日常の点検とお手入れ

△ 警告



- 下記のお手入れする部品以外には、機器に手を加えない
- 絶対に分解しない

△ 注意



- ・点検・お手入れは、必ずガス栓（ねじガス栓）を閉め、機器が冷えてから行ってください。また、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。（グリル庫内・排気口まわりは、特に注意してください）
- ・点検・お手入れ後は、機器内及びグリル庫内にふきん・紙類などが置き忘れていないか確認してください。

日常点検をしましょう

部品が正しくセットされていますか？

- ・バーナーキャップ、煮こぼれカパーリング、しる受け、ごとく、排気口カパーなどは正しくセットされた状態でお使いください。PQ QR

つまり、たまり、汚れはありませんか？

- ・バーナーの炎口が煮こぼれなどでつまっていますか。PR
- ・立消え安全装置（炎検知部）が煮こぼれなどで汚れていませんか。PR
- ・グリル皿に多量の脂がたまっていますか。PR

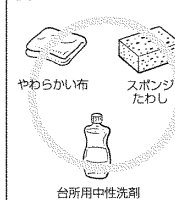
お手入れをしましょう

機器本体のお手入れ

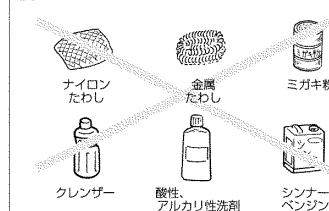
- ・乾いた布でふいてください。
- ・汚れのひどいときは、中性洗剤（食器・野菜洗い用）で汚れをおとした後、乾いた布で水気を十分にふき取ってください。

お手入れのときは

使ってよいもの



使ってはいけないもの



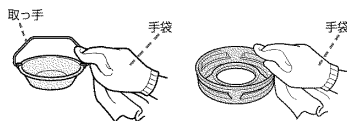
お願い

- 表面に傷がつくことがありますから、金属たわしやクレンザーなどは使用しないでください。
- アルカリ性洗剤などを使用しますと機器の塗装がはがれる恐れがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤を直接機器本体にかけずに必ず布に含ませてから使用してください。

日常の点検とお手入れ

しる受け・しる受けカップのお手入れ

取りはずして中性洗剤などで水洗いしたのち水気をふきとってください。
お手入れをしないと、よごれが焼きつくのでこまめにお手入れしてください。



お願い

- 使用後はしる受け・しる受けカップ、取っ手はあつくなっていますので、直接手を触れたりしないでください。お手入れの際は必ず冷えてから厚手の手袋をして行ってください。
- お手入れをする場合、特にチャオバーナー用しる受けカップは取り出す時に不安定ですので一度煮こぼれなどを、紙などで吸い取ってから取り出してください。

バーナー部分のお手入れ

バーナーの炎口が煮こぼれなどで目づまりしたり、汚れがひどい場合、炎が不ぞろいになったり、不完全燃焼したり、点火しないことがあります。炎口を細い針金状のものできれいに掃除してください。



お願い

- 標準バーナーのバーナーキャップとバーナー本体の表面は黒色の塗装がしてあります。金属たわしや、ナイロンたわしなどの固いものは、表面の塗装を傷つけますので使用しないでください。また、アルカリ性洗剤を使用しますと色落ちしたり、塗装がはがれる恐れがありますので使用しないでください。但し、万一塗装がはがれても、そのままお使いになれます。

⚠注意



バーナーキャップを水洗いしたときは、必ず水気をとってからセットし、正常に燃焼するか確認してください。

温度センサーのお手入れ

- 温度センサーの頭部についた煮汁やゴミは水に浸し固くしぼった布でふきとってください。



⚠注意

温度センサーのお手入れはこまめに行う

温度センサーが汚れていると天ぷら油過熱防止機能が働かず、やけどや火災の原因になります。また、上下にスムーズに動くことを確認してください。

立消え安全装置(炎検知部)、電極(点火プラグ)のお手入れ

- 電極(点火プラグ)や立消え安全装置(炎検知部)についた煮こぼれなどの汚れは布でふきとってください。(煮こぼれたときなどは、やけどに注意してすぐふきとるようにしてください)
- 電極(点火プラグ)や立消え安全装置(炎検知部)に汚れがこびりついている場合は、歯ブラシなどの柔らかいブラシで掃除してください。

お願い

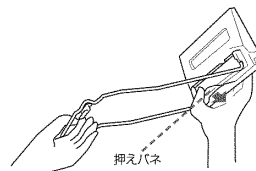
- 固いブラシではけってみがかないでください。故障の原因となります。

日常の点検とお手入れ

グリルとびらのお手入れ

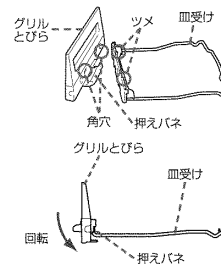
グリルとびらは取りはずすと掃除しやすくなります。

取りはずし方



①押えバネを ➡ の方向に下げる。

取り付け方



- ①血受けのツメ2カ所をグリルとびらの角穴にはめ込む。
- ② ➡ の方向に回転させる。
- ③押えバネが血受けに確実にハマっているか確認する。

⚠注意

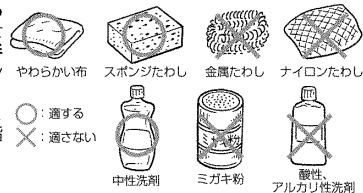


グリルとびら・グリルとびらガラスに傷をつけない

傷をつけるとガラスが割れて、けがややけどの原因になります。
グリルとびら、グリルとびらガラスはミガキ粉や金属タワシなどでこすらないでください。

グリル皿のお手入れ

- フッ素コート処理がされているグリル皿は汚れたらそのつど中性洗剤(食器・野菜洗い用)や水を含ませたスポンジたわしや布などのやわらかい物で、お手入れしてください。汚れたままにしておきますとシミが残ることがあります。
- グリル皿はグリル使用のたびに必ずお手入れしてください。汚れたまま使用しますと、こびりついた脂汚れがとれにくくなり、シミが残ることがあります。



お願い

- 金属たわし、ナイロンたわし、ミガキ粉などの固いものや台所用中性洗剤以外の洗剤(レンジクリーナーや漂白剤などのアルカリ性洗剤)は傷やシミ・変色・はがれあるいはフッ素コートをいためる原因となりますので、使用しないでください。
- グリル皿のお手入れはグリル皿が冷えてから行ってください。グリル使用直後、すぐに水をかけたりすると、グリル皿が変形する場合があります。

トッププレート部のお手入れ

表面が汚れたらそのつど中性洗剤（食器・野菜洗い用）や水を含ませたスポンジたわしや布などのやわらかい物でふきとりその後乾いたふきんでふいてください。

- 煮こぼれなど、そのままにしておくとこげついて取れなくなります。ご使用のたびに、こまめにふいてください。



△ 注意

使用直後は、トッププレートのガラス面は熱くなっています。お手入れはガラスが冷えてから行ってください。

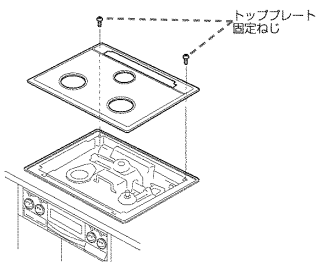


- 汚れのひどいときは、乾いた布に中性洗剤をつけてふきとり、もう一度ぬれふきん、乾いたふきんの順でふいてください。
- こげついた汚れは、液体（クリーム）クレンザーを布につけてふきとってください。（但し、常用するとガラス面の印刷がうすくなることがあります）
- ごとくの枠周辺部に汚れが残る場合は、液体（クリーム）クレンザーを布につけてふきとってください。

お願い

- ドライバーなど先の鋭いものやミガキ粉などは、ガラス面及び、ガラスリングの塗装部分を傷つけますので使わないでください。
- 漂白剤、強アルカリ洗剤を使用すると、トッププレート枠の表面がはがれ落ちることがありますので使わないでください。
- トッププレートは排気口部にねじ固定されています。修理技術者以外の人は取りはずさないでください。但し、排気口部から、可燃物（はし、調味料のふたなど）が機器内に入り取り出せない場合は、排気口部の固定ねじ2本ははずし、トッププレートを取りはずしてください。固定ねじがはずれない場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

トッププレートの取りはずし、取り付け



△ 注意



- トッププレートは確実に取り付ける。トッププレートに浮きがないことを確認する。

ごとく・煮こぼれカバーリングなどのホーロー部品のお手入れ

- 使用後そのつど台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を含ませたスポンジたわしでお手入れをしてください。（お手入れをしないと、汚れが焼つくことがありますのでこまめにお手入れしてください）
- こげつき等により、特に汚れが落ちにくい場合は、スポンジやナイロンたわしにみがき粉やクレンザー（研磨材入り洗剤）をつけてお手入れした後、洗剤をしっかりと洗い流し、水気をふきとってください。

お願い

- クレンザーやみがき粉には研磨材が配合されていますので、ごとく表面に多少のこすり傷がつくことがあります。また洗剤の液性はアルカリ性ですので、洗剤を十分に洗い流し、水気をふきとってください。洗剤が残っていると錆の発生の原因になります。
- 使いもの（金属たわしなど）でお手入れをすると、ごとく表面のホーローがかけたり、ひっかき傷が残ることがあるので使用しないでください。

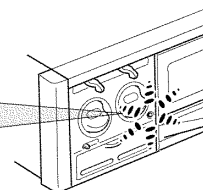
注意ラベルについて

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼付してあります。汚れたりして読めなくなった時はやわらかい布などで汚れをふきとってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスで新しいラベルを再購入のうえ、張り替えてください。

電池交換サインについて

乾電池の交換時期が近づくお知らせする電池交換サインが付いています。点滅したら新しい単1形アルカリ乾電池（1.5V）2個を用意し点灯に変わったら交換してください。（取り替え方法は⑨を参照してください）

- <点滅> ……サインが点滅したら「そろそろ交換してください。」
- <点灯> ……サインが点灯したら「標準バーナー・グリルは使えません。電池を交換してください。」



- 点滅から点灯に変わると標準バーナー・グリルは使用できなくなりますので、乾電池を新しいものに交換してください。
- 電池交換サインは、標準バーナーまたはグリルを使用しているときに作動します。他のコンロのみを使用している場合は、乾電池の容量が少なくなっても点滅や点灯はしませんのでご注意ください。
- 乾電池が正しくセットされていなかったり、乾電池に全く容量がなくなったときは、電池交換サインは点灯しません。この場合、放電スパークの「パチパチ」音がしませんが、ただちに乾電池を点検してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前にもう一度ご確認ください

- 調べてみると故障でない場合もあります。修理を依頼する前にもう一度チェックしてください。

現 象	原 因	処 置	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐ消える 	ガス栓の開き忘れ	ガス栓(ねじガス栓)を全開にしてください。	17・23
	バーナーキャップ、しる受けカップ・煮こぼれカバーリングの取付	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	11
	バーナーの炎口部が水滴でふさがっている	炎口部の水滴をふきとってください。	26
	バーナーの炎口づまり	炎口を掃除してください。	26
	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	26
	アルミはく製汁受け皿を使用している	アルミはく製汁受け皿を使用しないでください。	3
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない	④、⑤を確認して正しくセットしてください。	9
	乾電池が消耗している	新しい電池と交換してください。	9・29
	操作ボタンの押し不十分	操作ボタンを強めに押し、数秒間押し続けてください。	17・24
	操作ボタンがロックされている	点火ロックを解除してください。	17・23
<ul style="list-style-type: none"> ・炎が安定しない ・炎が黄色い ・異常音をたてて燃える ・爆発的に点火する ・なべにガスが付着する ・使用中、炎が消える 	配管の中に空気が残っている	点火操作を繰り返してください。 ※設置時などは点火するまでしばらく時間がかかります。	17・24
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。	—
	バーナーキャップ、しる受けカップ・煮こぼれカバーリングの取付	浮き、傾きのないように正しくセットしてください。	11
	バーナーの炎口づまり	炎口を掃除してください。	26
	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)がぬれたり、汚れたりしている	点火プラグ・立消え安全装置(炎検知部)のお手入れをしてください。	26
	LPガスがなくなりかけている	新しいボンベに交換してください。	—
	炎のむくりこみ・機器内への風の吸い込み	お買い上げの販売店・もよりの大阪ガスにご相談してください。	30・32
	使用なべの形状、材質が適していない	「温度センサーに適したなべ」を参照してください。	15
	なべ底や温度センサーの頭部の汚れ	なべ底や温度センサーを掃除してください。	26
	なべ底が凸凹している	底が平らな金属性のなべを使用してください。	14
<ul style="list-style-type: none"> 標準バーナー使用中に消火する ・調理中に自動消火する ・油温度が高くなっても自動消火しない ・点火してもすぐ消える 	なべが焦げついたり、油の温度が高くなっている	水を入れたなべや水に濡した布などで温度センサーを冷やしてください。	13・14
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットしてください。	9・29
	乾電池が消耗している	新しい電池と交換してください。	9・29
	消し忘れタイマーの作動(標準バーナー約2時間グリル約15分)	続けて使用する場合は再点火してください。	17・23
	機器の異常過熱(標準バーナーの異常過熱防止センサーの作動)	お買い上げの販売店・もよりの大阪ガスにご相談してください。	30・32
	グリル過熱防止センサーの作動	しばらく待ってから再点火してください。(約3分)	23
	火力調節が適切でない	火力を炊飯の位置に正しくセットし炊飯をやりなおしてください。	19
	使用なべの形状、材質が適していない	「炊飯機能(標準バーナーのみ)」を参照してください。	15
	標準バーナー使用中に消火する	続けて使用する場合は再点火してください。	13
	調理中に消火する	続けて使用する場合は再点火してください。	13

異常過熱防止センサー(標準バーナーのみ)

標準バーナーは、異常燃焼や排気ガスと熱気が機器内に引き込まれて、ワークトップや機器内が異常温度になったとき、異常過熱防止センサーが作動し、自動消火します。

お願い

- しばらく(約5分以上)待ってから再点火してください。
- センサーが作動しているときは、点火はしますが、手を離すと火が消えます。
- バーナー部や排気口部から排気ガスと熱気が機器内に引き込まれてセンサーが作動し、消火する場合、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

故障かな？と思ったら

こんな場合は故障ではありません

現 象	理 由
●はじめてグリルを使ったとき煙がでた	●庫内には加工油を使っています。グリルをはじめてお使いになると、その加工油が焼けて排気口部およびコンロバーナー周辺から煙がでます。 はじめてグリルをお使いのときは、庫内の油を焼ききるために約5分くらいから焼きをしてください。 ●から焼きをする場合、グリル内に異物がないことを確認してから行ってください。
●炎が赤い	●グリル使用時にコンロを使用すると焼き物の塩分(ナトリウム)や水中に溶解しているカルシウムなどが燃焼して炎が赤くなる場合がありますが異常ではありません。また加湿器を使用している場合にも同様に水分中のカルシウムにより炎が赤くなることがあります。
●点火後や消火後にキシミ音が出る	●過熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音です。

- 点火の操作をしているとき「パチパチ」という放電とともに電池交換サインが薄く点滅することがありますが故障ではありません。
- 朝一番など、長時間ガス栓を閉じていたときは、すぐに点火しないことがあります。機器配管内の空気が抜け、バーナーにガスがくるまで数回、点火操作を繰り返してください。
- コンロバーナーは消火時にボンという音がある場合がありますが、これは火が消えた時の音で故障ではありません。

お願い

- なお異常のあるときやわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

安全装置が作動した場合の処置

安全装置が作動するとブザーと表示でお知らせします。

ブザー音	表 示	内 容	処 置	参照ページ
ビー×3回		●立消え安全装置作動(標準バーナー)	続けて使用する場合は再点火してください。	13
		●異常過熱防止センサーの作動(標準バーナー)	ガス栓(ねじガス栓)を開め、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。	30
		●立消え安全装置作動(グリル)	続けて使用する場合は再点火してください。	13
		●グリル過熱防止センサー作動	しばらくまってから再点火してください。(約3分)	23
ビー×5回		●電池交換のお知らせ	新しい乾電池に交換してください。	9・29
		●焦げつき消火機能作動、天ぷら油過熱防止機能作動(標準バーナー)	続けて使用する場合は、やけどに注意して再点火してください。	13・14
		●ガラスなべ、土なべを使用して炊飯ができない場合	なべ裏面を変えて炊飯をやり直してください。	15
		●標準バーナー消し忘れタイマー機能作動(約2時間)	続けて使用する場合は再点火してください。	14・23
ビー×1回(約2秒)		●グリル消し忘れタイマー機能作動(約15分)	続けて使用する場合は再点火してください。	14・23
		●温度センサー・グリル過熱防止センサーまたは電子ユニットの故障	ガス栓(ねじガス栓)を開め、使用を中止し、点検・修理を依頼してください。	—

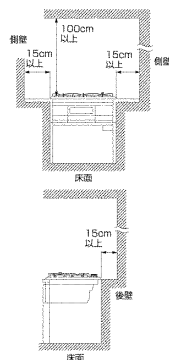
長期間使用しない場合

- ガス栓(ねじガス栓)を必ず閉めてください。
- 電池は取りはずしてください。
- お手入れをしておくとき次回使用するときに便利です。

機器の設置

本体と壁の間をあけてください

- 機器と上方の天井、たななどの可燃物の間は、100cm以上離してください。
- 木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。

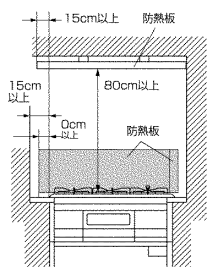


⚠注意

強い風の吹き込む場所では使用しない
安全装置が正しく働かなかつたり点火しないことがあります。

湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しない

キャビネットに背板があるか確認する
キャビネットに背板がないと、機器を通して異常な空気の流れが起こるため、不完全燃焼や排気ガスや熱気が機器内に引き込まれ、異常過熱防止センサーが作動することがあります。



可燃性の壁から上記のように離して設置することができない場合

- 防熱板を右上図のように取り付けてください。(詳しくは別冊の設置工事説明書を参照してください)
- 調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も防熱板で流し台側面を保護してください。
- 防熱板については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご相談ください。
- 別売の指定の防熱板を必ずご使用ください。

アフターサービス

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな?と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

- ご連絡の際には次のことをお知らせください。

1. 品名……………ビルトインコンロ
2. 品番……………電池ケースふたに表示してあります。
3. 故障、異常の現象……………できるだけ詳しく
4. お客様名、住所、電話番号

(N)110-5160(U)
大阪ガス株式会社
21-080-02-00271

転居されるとき

- ガスには都市ガス数種類、およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
この場合調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

保証・補修について

- 保証期間中は……
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
この製品の修理用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後6年間です。
但し、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は有料修理いたします。

消耗品 (お客様にて取り替え可能な消耗部品)

お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

消耗品	品番	110-5160/5161/5162/5163型	
		希望小売価格	部品コード
ごとく	チャオ・標準バーナー用	¥1,200	111050900001
	小バーナー用	¥1,100	111050900002
煮こぼれカパーリング	チャオ・標準バーナー用	¥500	111051600003
	小バーナー用	¥300	111050900004
しる受け皿	チャオバーナー用	¥300	111050800158
	標準バーナー用	¥700	111050900185
標準バーナー用バーナーキャップ	小バーナー用	¥250	111050800191
	標準バーナー用	¥1,100	111051600165
グリル皿		¥1,300	111050900017
グリル焼網		¥800	111050900018

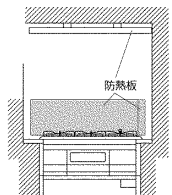
(2002年6月現在の価格です。価格・仕様は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください)

別売部品のご紹介

つぎのような別売部品を用意しています。もよりの大阪ガスサービスショップ、またはもよりの大阪ガスでお求めください。

防熱板

- 設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。
- (4)015-0100-0205……側壁用 RB-60T……天井用
- (4)015-0100-0206……後壁用 RB-15T……天井用補助



中華なべ用補助ごとく



中華なべ用補助ごとく <(4)015-0100-0350>

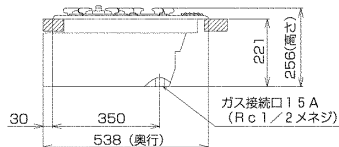
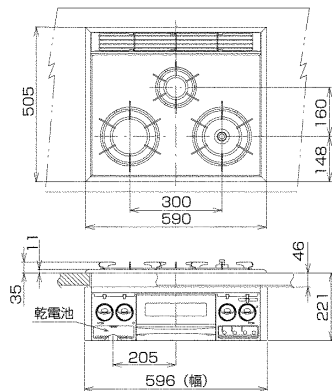
- 中華なべを用いて料理するとき、なべの安定性をよくするために、ごとくの上のせてお使いください。
- ①切り欠きをごとくの爪にはめてください。
- ②ごとくの上にのせてから確実に固定されているか確認してください。
- また、なべ底にセンサーが密着していることを確認してください。

炊飯専用釜 <(4)111-4010型>

- 炊飯専用釜をお使いいただくと上手に炊飯することができます。

寸法図

(単位: mm)



仕様

品 名	ビルトインコンロ
品 番	110-5160型・110-5161型・110-5162型・110-5163型
型 式 名	RBG-N31WGR
点 火 方 式	連続スパーク点火
外 形 寸 法	高さ256mm×本体幅596mm×奥行538mm トッププレート幅590mm
質 量 (本 体)	21.0kg (付属品含む)
ガ ス 接 続	15A (1/2B) ガス管または金属可とう管
安 全 装 置	立消え安全装置 (全コンロ・グリル)、天ぷら油過熱防止機能 (標準バーナー)、異常過熱防止センサー (標準バーナー)、グリル過熱防止センサー、消し忘れタイマー (標準バーナー約2時間グリル約15分)
電 源	DC3.0V (単1形アルカリ乾電池×2個)
付 属 品	単1形アルカリ乾電池 (2)、取扱説明書、保証書、設置工事説明書、クッキングブック

使用ガスの種類 ガスグループ		1時間当りのガス消費量				
		個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量
		チャオバーナー	標準バーナー	小バーナー	グリル	
都 市 ガ ス	12A	4.30kW (3700kcal/h)	2.50kW (2150kcal/h)	1.51kW (1300kcal/h)	2.38kW (2050kcal/h)	10.3kW (8850kcal/h)
	13A	4.65kW (4000kcal/h)	2.67kW (2300kcal/h)	1.63kW (1400kcal/h)	2.56kW (2200kcal/h)	11.0kW (9500kcal/h)
L P ガ ス 用		3.96kW (0.283kg/h)	2.52kW (0.180kg/h)	1.34kW (0.096kg/h)	2.69kW (0.192kg/h)	10.0kW (0.714kg/h)